

■マリンエンジニア 1月号 (一般社団法人 日本船舶機関士協会)

巻頭言は当協会会長の「新年のご挨拶」。一般社団法人日本船主協会 長澤仁志会長の「年頭の辞 (2026 年新春を迎えて)」。監事による閑話休題は「機関故障検索システムについて」。英訳を併記した機関故障例は「差動電流リレーによるブラックアウト」、「F0 清浄機損傷」、「非常用 24V バッテリーの放電」及び「高温腐食による主機排気弁・弁座の損傷」。

労働問題は「エンジニア労働時間改善」。技術資料は令和 7 年度第 1 回技術講演会「アンモニアバンカリングガイドライン」。船舶機関士等からの投稿記事は「サポーター登場」、「私の本棚」、「体験記」および「VOICE」。

その他の記事は「ニュースの窓 (2025 年の海運界ニュース)」、「令和 7 年度第 2 回技術講演会のご案内」、「第 53 回戦没・殉職船員追悼式のご案内」及び「ホームページのご紹介」など。

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-5 海事センタービル 5 階 ☎03・3264・2518



